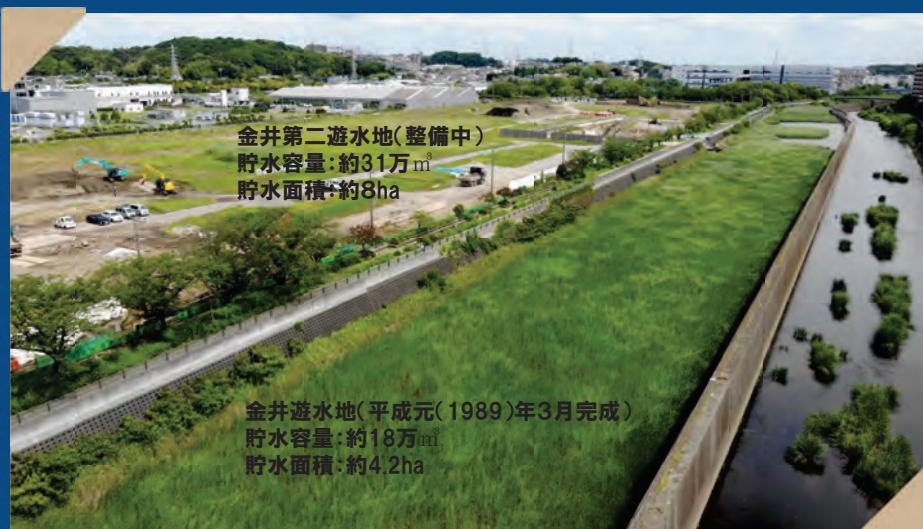


県内初の遊水地

遊水地は、洪水時に川の水を一時的に貯めることにより、下流の氾濫を防ぐ役割を果たす施設です。

県内初の遊水地となる金井遊水地は、かしおがわ境川水系柏尾川の中流部、横浜市戸塚区金井町に位置しており、昭和50（1975）年度から用地取得を開始して、昭和54（1979）年度からは遊水地本体の工事に着手し平成元（1989）年3月に完成しました。



金井第二遊水地(整備中)
貯水容量:約31万 m^3
貯水面積:約8ha

金井遊水地(平成元(1989)年3月完成)
貯水容量:約18万 m^3
貯水面積:約4.2ha

現在の金井遊水地

金井遊水地に隣接して、新規の遊水地（金井第二遊水地）の整備を進めています。



昭和の柏尾川の風景



昭和57年台風18号による柏尾川の水害

これからも続く遊水地整備

県の事業として取り組んでいる遊水地や地下調節池については、これまでに9施設が整備済みで、現在も矢上川、恩田川、小出川及び柏尾川で整備を進めています。



金井遊水地と整備中の遊水地等位置図



矢上川地下調節池(川崎市宮前区)



小山遊水地(恩田川)(横浜市緑区)



小出川新規遊水地(茅ヶ崎市)



かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ